

★今年度の『本校生徒の主体性を高める12項目』に対する検証②★

①『生徒の主体性を育てる授業』

12月の『SAH生徒対象非認知能力アンケート』では『非認知能力を向上させる場面』の『第1位』として生徒が『授業』をあげています。本校職員に対する『授業改善ポイント』のひとつのテーマとして設定し、互いに授業を参観し合い、引き続き、『認知能力&非認知能力の両者を向上させる効果的な教授法』を求め、今後も研鑽し研究して参ります！次年度は「①生徒の『主体性』を育成する『授業改善』」と表現を改定し、継続予定です！

②『個別最適化した生徒への課題』

SAH Journal Vol.74で、本校の教員が行っている『個別最適化』の取組についてはお知らせしたとおりです。AIレコメンド機能を活かしたClassiの『学習トレーニング機能』の推奨も行っていましたが、生身の人間である本校の教員も『週末課題』だけでなく『授業』でも『個別最適化』に向けて工夫を行っています！次年度は「②『授業&課題』等における『個別最適化』への工夫」として範囲を拡大し、継続予定です！

③すべての『考査』を4日間で実施

職員会議等で『期末考査5日間制』について議論を重ねてきました。『授業確保』の観点もありますし、『共通テスト』では『2日間で8科目受験』するわけですからそのトレーニングも積む必要がありますので『期末5日間制は見送り』という結論に達しました！『見送り』となりましたが『議論』することが重要だと考えています。今後もさまざまなことを検証し、『変更すべき』ことを積極的に議論していこうと思います！引き続き、生徒のみなさんは『考査・模試・入試』などに向かって『セルフマネジメント能力』育成を目指し、対策に取り組んでください！『共テは2日で8科目受験』がみなさんが攻略すべき『ラスボス』です！次年度のこの項目は『進路指導』にカテゴリー変更し、「③『考査&模試&入試』等に対する生徒の『セルフマネジメント能力』の育成」と表現を変えたいと思っています！正式に決定しましたら、またお知らせします！

④生徒が作成した『身だしなみルール』の運用

⑤『身だしなみ』の『セルフチェック化』

『生活委員会』が取り組んだ『身だしなみセルフチェック化』により、生徒が主体的に『社会で通用する身だしなみ』を意識して過ごしています。教員主導の『検査的』な服装髪型指導を廃止しましたが、生徒が自分を律しています！現在、生活委員会では『身だしなみとしての化粧』についても企業や大学の考えを聞きながら『化粧の是非』について模索している模様です。また、校内での『スマホルール』『BYODルール』についても検討中とか。もはや生徒が扱っている分野は『身だしなみ』のみではありません！それを受けて次年度は「⑧生徒主体の『ルールメイキング』への挑戦」、**「⑨生徒主体の『セルフコントロール能力』の育成」**と範囲も表現も改訂したいと考えています！すでに『実施』できていることもあり項目番号を⑧と⑨に変更予定です！

⑥『3年間を見通した進路指導』

⑧『生徒の主体性を育成する補習』の企画

⑦『サタデープラン』の大幅縮小

⑨『Classi』を利用した自主学習促進

今年度の大きな変化としては、1,2年生対象の『サタデープラン（土曜補習）』を廃止したことがあげられます。生徒に『自由な時間』を返却したことになりましたが、『自由度の高い時間の活用法』には『個人差』が出ているようです。これは『SAH生徒対象非認知能力アンケート』結果でも生徒が自覚しているという結果が出ています。生徒のみなさん、さらに『マネジメント能力』を磨く機会です！『教わる』から『学ぶ』へというスローガンのもと『やらされている補習』ではなく『生徒が主体的に参加できる補習』『生徒が企画する補習』なども計画中です！受験生にとっては、共通テストの新科目『情報Ⅰ』の自主学習ツールとして『Classi』の利用が不可欠です！『情報Ⅰ』に関して、『配信』を含め、情報提供が行われています！Classiの『AIレコメンド機能』もフル活用していきましょう！また、学校評価アンケートでも多くの保護者のみなさんにご指摘いただいたとおり、『進路指導の項目』を次年度はさらに『重点化』していこうと計画中です！すでに一定の成功を収めている④⑥の生徒指導項目より項目番号を上位にする予定です！よって次年度は「④生徒の『主体性』を育成する進路指導&探究活動」、**「⑥生徒の『自由度の高い時間の有効活用』を支援する進路指導」**、「⑧生徒の『主体性』を育成する補習の企画」、**「⑦『Classi』等を利用した『個別最適化』した自主学習の促進」**といったように④～⑦に配置する予定です！また、進路指導部の活動の広報活動も積極的に行って参ります！

⑩『生徒の主体性を発揮できる学校行事』の設定

⑪『生徒の主体性を発揮できる部活動』の促進

⑫『生徒の主体性を発揮できる環境』の整備

12月の『SAH生徒対象非認知アンケート』で『非認知能力を発揮できる場面』の『第2位』に『部活動』、『第3位』に『学校行事』が位置しておりますので、引き続き、重点項目に入れる予定です！全校生徒の『Well-being』を高められる『学校行事』の促進と『環境の整備』を引き続き実施していきます！例えば『中庭活用の活性化』を促すために『県産材で製作されたベンチ』を近々設置予定です！また、今年度は1学年の『大学見学』も大幅に生徒の活動の幅が拡充しましたし、2学年の『修学旅行』も生徒主体で企画・運営していただきました！そして、『3年に1度の開催』だった『文化祭』が、生徒会による全校生徒・職員との合意形成の結果、次年度も開催されることが決定しています！**次年度も同じ項目表現で⑩～⑫を構成する予定です！**前南生の活躍が次年度も楽しみでなりません！『2年連続で開催する文化祭』も9月実施の『スポーツ大会』もさらに『発展』できるとよいですね！！近々、次年度の文化祭の情報が生徒会より発表されると思います！

★教頭より★ SAHの指定を受けて2年が経過しようとしておりますが、生徒たちの勢いが止まる兆しはありません！私たち教職員も『生徒主体の活動』をさらに促進させられるよう協議を重ねて参りました！決して『生徒を放任』するわけではなく、『生徒を信じ、任せる』という気持ちで行っておりますので、今後ともご理解・ご協力をいただければ幸いです！個人的見解ではありますが、私にとっては『生徒も同僚』であると感じております！縁あっておなじ前南で過ごし、前南という環境をさらによいものにしようと思いを絞り、前南に関わる方々の『Well-being』の向上に繋がるようともに尽力している仲間です！これからも生徒とともに協働して参りたいと思っています！本校の職員もさまざまな取組を考案したり、生徒を支援したりしております！今後も生徒の自由な発想による取組に期待しています！まずは『2年連続開催の文化祭』でどんな企画が飛び出すのか楽しみで！（文責：教頭 星野 亨）

★校長より★ 現代はVUCA（ブーカ）の時代（Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity）と言われています。この変化の激しい時代に皆さんが対応し、活躍するために必要な力の育成を目的としてSAHは取り組まれています。今年度もいろいろな場面で皆さんが、「自ら考え、判断し、行動する」を実行することができました。「身だしなみのセルフチェック」の運用や図書委員会・修学旅行委員会の企画・検討など、生徒個人の学校生活や委員会活動でSAHが展開されたことを、うれしく思います。さらに、上記のように進路や授業、課題の部分でも工夫が始められています。将来的にはSAHが前橋南高校の校風として染み渡り、生徒の皆さんにより代々引き継がれるようになると良いと思っています。前南は次年度もSAHを進めていきます。皆さんには自分事としてそれぞれの場面で「自ら考え、判断し、行動する」に積極的に取り組んでいただきたいと思っています。校長 原 拓史